

第2回 第2期石狩市食育推進計画策定委員会 会議録

日時 令和3年10月28日(木)15時30分~17時00分  
場所 石狩市役所第1委員会室(5F)  
出席者 村田まり子委員長、吉田絵里委員、納谷眞智子委員、穴田めぐみ委員  
事務局 企画経済部産業振興担当部長 本間孝之  
農政課長 水野智之、農政課主査 袴田正、農政課主任 大川ありさ  
商工労働観光課主査 渡部隆弘、保健推進課主任管理栄養士 青山真希、  
学校給食センター主任管理栄養士 宮原三希恵  
欠席者 清水祐美子副委員長、本間敏子委員  
傍聴者 0名  
次第 1. 開会  
2. 議事  
(1) 食育アンケートの集計結果について(報告)  
(2) 第2期食育推進計画素案について  
3. その他  
4. 閉会

====審議内容の記録(審議経過、質疑、意見等)=====

※ 以下の質疑、意見については、○は委員発言要旨、●は事務局発言要旨

1. 開会  
2. 議事

(1) 食育アンケートの集計結果について(報告)(※事務局から説明)

●(袴田主査) アンケートの結果について、調査対象2,670件中1,006件より回答が得られた。回答率37.7%(前回65.1%)、Web活用で回答率アップを目指したが上がらなかった。集計結果を設問ごとに説明。自由意見については、給食に関する意見が多く、地元食材の使用や郷土料理の献立など、家庭ではできない食育を学校に期待する保護者が多かった。新型コロナウイルス感染症の影響は、アンケート結果からは家庭内における変化は大きく見えなかったが、給食の食べ方や時間、体験活動・行事の中止など学校や地域で変化が現れている状況であることを説明。(資料2)

【質疑・意見】

- (村田委員長) Web以外の回答方法は何かあったか。
- (袴田主査) 調査票に回答し学校に提出する方法。
- (村田委員長) 自由意見はWebでの割合が多いのか。
- (大川主任) Webがほとんどで、調査票への記述は少なかった。
  
- (納屋委員) 生の意見があり大変さが分かった。

- (村田委員長) 自由意見の件数は何件あり、公開はされるのか。
- (袴田主査) アンケート結果は公表されるが自由意見については抽出する予定。
- (納屋委員) 朝食の欠食は7.5%でも人数にすると多い。自由意見に応えられる環境がつけるといい。
- (水野課長) 自由意見は68件、学校給食への意見が多い。ゆっくり食べることが食育には大切だと読み取れ、学校や食育事業への働きかけも必要。朝食の欠食については、家庭は朝食に対する意識づけが必要だと事務局としては捉えている。
- (吉田委員) 年に1回は自校以外で食育の授業を行っているが、家庭には伝わっていないことが分かった。給食便りで給食レシピや残食について周知する方法を検討したい。
- (穴田委員) 朝食欠食の現状の理由は何か。みんなで同じものを食べて、会話が広がっていくことが大切だと感じる。給食残食については統計があるのか。
- (吉田委員) 栄養教諭を配置する双葉小、花川小、花川北中、厚田学園では残食率を出しているが、栄養教諭の配置されていない学校は残食状況の把握ができていないので気になる。
- (村田委員長) アンケートの回答率と郷土料理の減少が気になった。
- (青山主任管理栄養士) 前回調査では、郷土料理の例示をしたが、今回はなくそこが影響したのではないか。また、朝食の欠食理由については、「食べる時間がない、食欲がない」が8割だった。
- (村田委員長) アンケート結果はこのまま掲載するのか。自由意見の質問にはコメントをいれるのか。
- (袴田主査) 数値はこのまま、自由意見は抜粋で掲載。自由意見の質問に対する回答予定はない。
- (水野課長) アンケート結果を踏まえて計画に盛り込もうと考えている。市全般の調査に対する回答率については3割、4割が一般的。対象人数を増やした中でも1,000件程度回答があったので低い数字ではないと捉えている。
- (本間部長) 市内小中学校約4,500食の給食の中で1,000件の回答があれば傾向はある程度取れている。

(2) 第2期食育推進計画素案について(※事務局から説明)

- (袴田主査) アンケート結果、国や道の計画、SDGsを踏まえ、計画の素案を作成。国や道の計画の方針や方向性は、現計画においても沿っており、一部見直している。委員の意見、体裁調整、イラスト、写真、用語説明などを追加して、計画の最終系を作りたい。計画の素案第1章から4章を資料に基づいて説明。なお、計画期間はSDGsの観点や他の産業振興関連計画との整合性を図り、第5期から10年間としたい。また、計画のキャッチコピーやサブテーマなど委員からの意見を含め決定したいことを説明。(資料3)

【質疑・意見】

- (村田委員長) 計画期間について、持続可能な計画であるため10年計画で良いか。  
※委員から異議なし

- (宮原主任管理栄養士) 来年から、いしかりウィークから、いしかりデーに戻す予定なので計画もいしかりデーのままを希望する。
- (本間部長) 年1回になるのか。
- (宮原主任管理栄養士) 季節を分けて年5回開催する予定。
- (袴田主査) いしかりデーに戻したい。
- (村田委員長) 目指す姿は検討課題であるか。
- (水野課長) 検討する日にちを設けるので提案頂きたい。
- (吉田委員) 地場産物をもっと給食に使用したいが価格が高く使えない状況である。
- (穴田委員) 子どもには旬の物を旬な時に食べてほしい。安く手に入るとすごく良い。規格外品などはどうか。
- (村田委員長) 量、品質、価格がそろわないと給食には使えないので何とかなると良い。
- (水野課長) 消費者としては1円でも安く買いたいたいところであるが、農業者は少しでも高く市場に出し、所得を安定させ、次世代に継いでいく必要がある。また、規格外品が多く流通する事で市場価格のバランスが崩れる恐れがある。給食としては何とかしたいところだが強制は出来ない事をご理解頂きたい。
- (村田委員長) 他の地域と価格比較するなど検討が必要。
- (納屋委員) 学年別の献立にして量を変えてはどうか。カロリー分けはどうなっているのか。
- (村田委員長) 献立を分けることは、現実的に難しい。
- (吉田委員) 提供するエネルギー量は低学年、中学年、高学年、中学校で分かれている。
- (本間部長) 漁協からは日本人の魚食離れを危惧し、例えばニシンなんかは無料で提供としてもいいので学校給食で取り扱って欲しいが、今の時代、骨があると危ないからとの理由で敬遠されがちの状況だと言われたことがあるが本市においてはどうか。
- (吉田委員) 出したいが、大量の魚を均等な厚さ、グラムでとれるかどうかの課題がある。
- (村田委員長) 魚はもちろん、提供する給食は、調理方法や食べるまでの時間など衛生的な運営上のルールがある。今後の参考としたい。
- (納屋委員) 子ども食堂にくる無料食材の案内があるが、給食には使えないのか。
- (村田委員長) 数と規格が合わないのではないか。
- (水野課長) 昨年度はJAからお米の寄付を受け、給食や子ども食堂に使われている。野菜の価格については卸値より安く販売している業者もいる。価格や流通形態等についてJAに確認したい。

### 3. その他(※事務局より説明)

- (袴田主査) 次回の開催日程等について  
追加意見など11月5日(金)までに事務局に頂きたい。  
次回11月30日(火)14時から201会議室で開催予定。  
※委員からの質疑なし

4. 閉会

令和3年11月25日 議事録確定

第2期石狩市食育推進計画策定委員会

委員長 村口 利子